

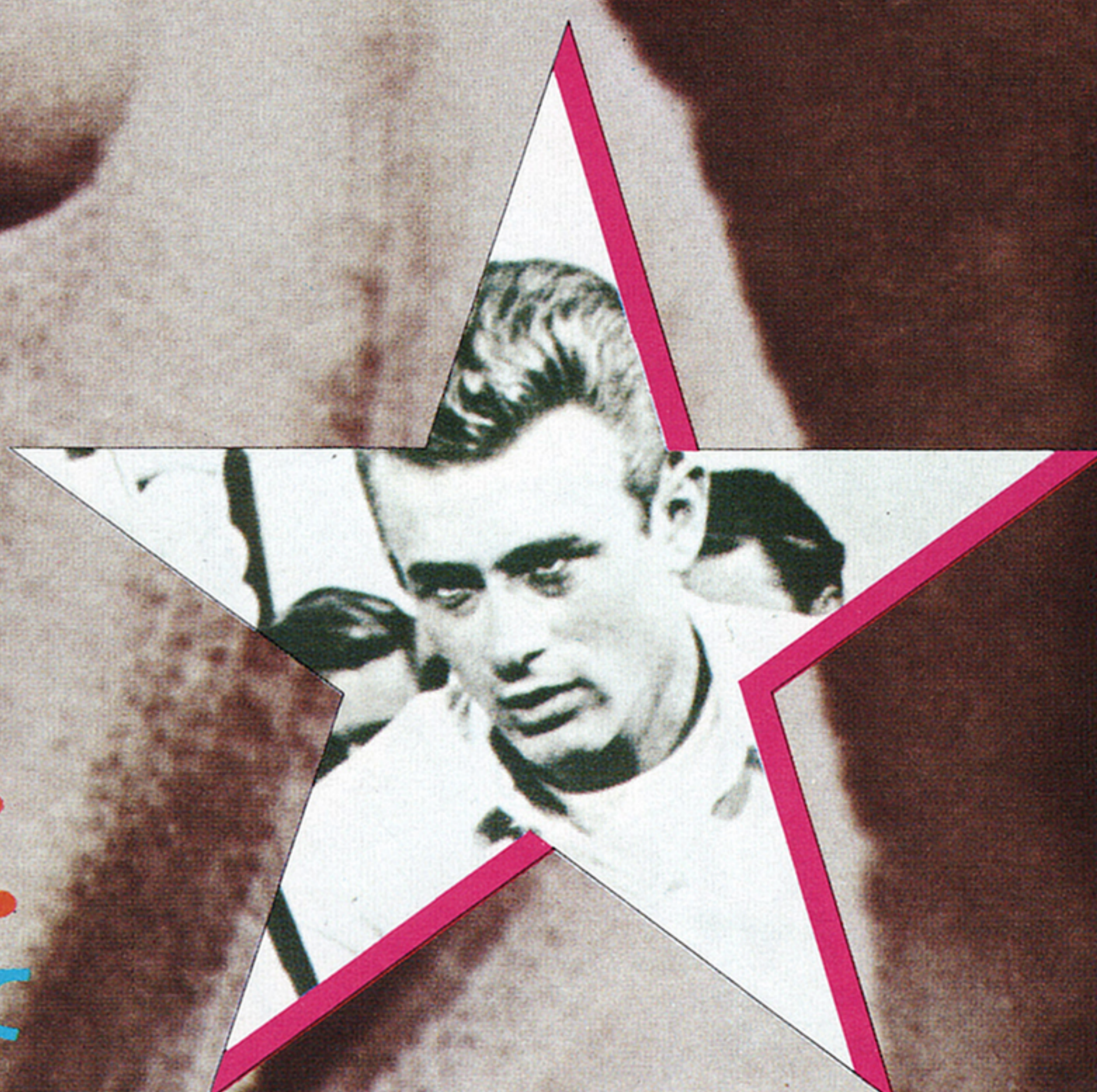
JAMES DEAN

THE FIRST AMERICAN TEENAGER



製作デビッド・フトナム
サンディ・リーパーソン
監督レイ・コノリー
デニス・ホッパー
ナタリー・ウッド
サミー・デイビスJr.
キャロル・ベイカー
サル・ミネオ
リー・ストラスバーグ
ナレーター
ステーシー・キーチ

東宝東和提供 TOWA



カラー作品 ● アメリカ映画
青春よ永遠に
ジェームズ・ディーンのすべて

9月15日祝日ロードショー

有楽町 日劇前 ニュー東宝 シネマ2 (571) 1947

●永遠のスター、ジェームズ・ディーン
スイ星のようにスクリーンに現れ「エデンの東」「理由なき反抗」「ジャイアンツ」と3本の映画に主演し、世界中の若者を熱狂させたまま、24歳の若さでこの世を去ったジェームズ・ディーン。スターの座にいることわずかに1年。その鮮烈な個性で演じた青年像は、彼自身とオーバーラップし、青春の象徴として今もなお多くの人々の胸の中に生きている。

死後21年たった今も、人気スター・ベスト20の中に必ず顔を出し、ファン・レターもとどえたことがないというのも、映画界では奇跡といわれている。

●貴重な未発表フィルムなどでつづるジミーの実像

映画は、幼い頃からカレッジ時代まで、又3本の主演作から名場面の抜萃、舞台やTVの出演作や「エデンの東」での貴重な未発表フィルム、交通安全キャンペーンに出演の模様など珍しいフィルムでつづられてゆく。

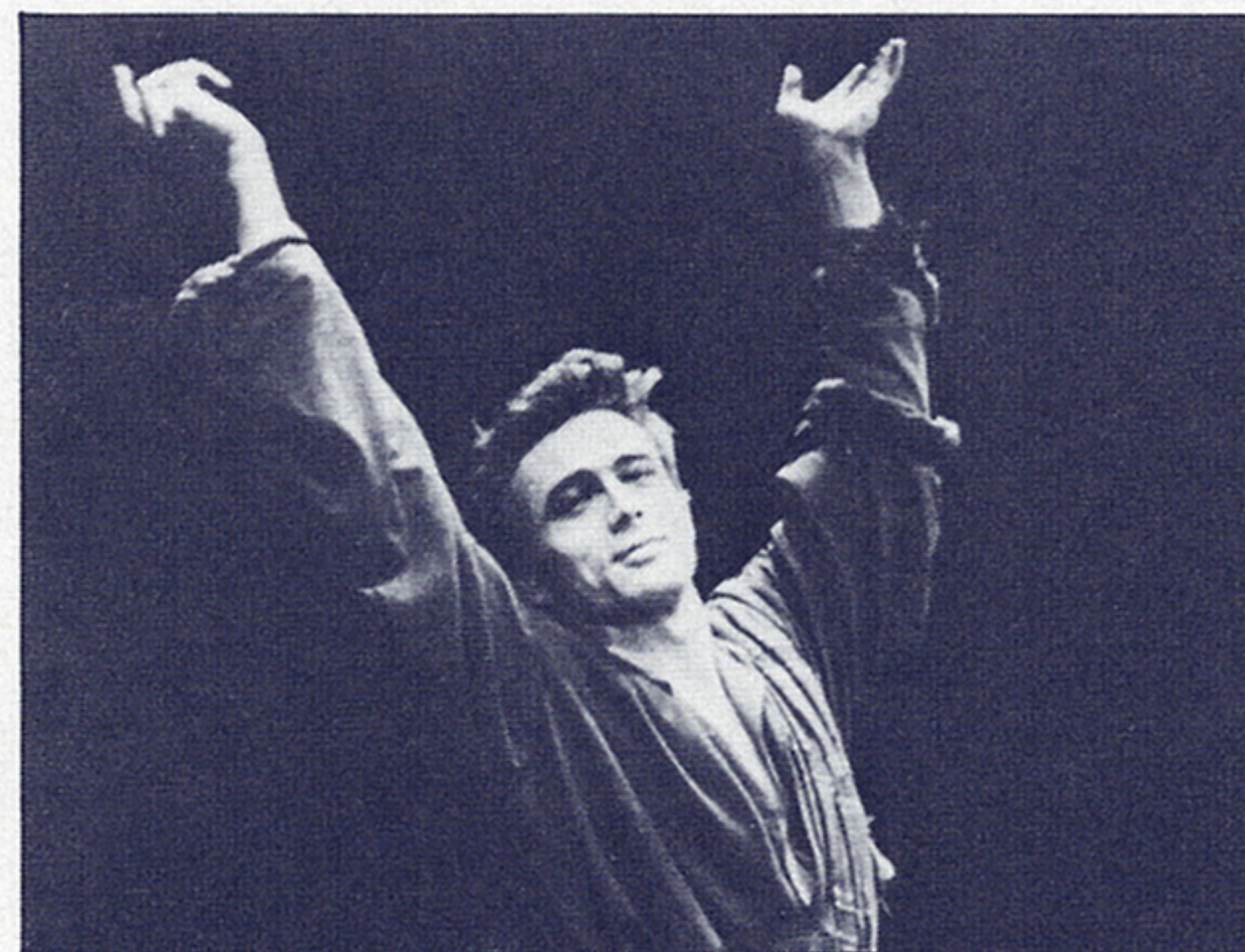
そして、彼にゆかりのあった人達からの取材、「ライフ」誌のカメラマン、デニス・ストックが撮った素顔のジミーなどを織りまぜて彼の神話と実像を追ったドキュメンタリー作品である。

●ジミーを偲ぶ、ゆかりの監督、俳優

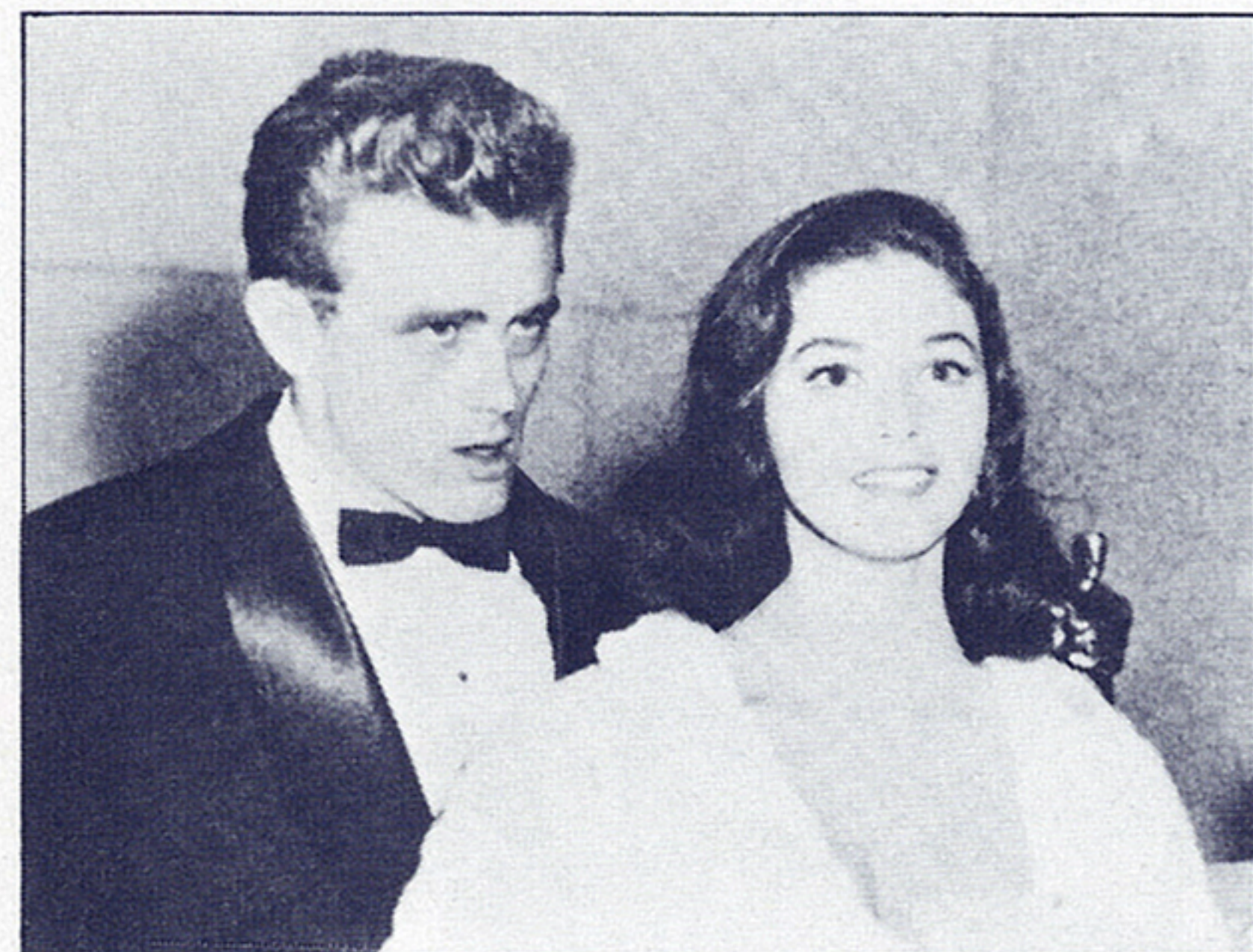
「理由なき反抗」で彼とのロマンスを噂されたナタリー・ウッド、監督のニコラス・レイ、サル・ミネオ。「ジャイアンツ」で共演したキャロル・ベイカー、友人のデニス・ホッパー、サミー・デビス・ジュニアなど多くの人たちから直接彼の演技論、遺作「ジャイアンツ」撮影時の珍しいエピソード、そして、事故死の時の様子などが語られ、知られざるジミーの一面が浮き彫りにされる。



●ジミー9歳。ナイーブな線とどこか寂しそうなほほ笑みは亡き母への憧憬か。



●「背徳者」で脅迫者アラブを演じ絶賛を浴びて有望な新人として注目される。



●初恋の人ピア・アンジェリとジミー。失恋の傷みが彼の死を早めたのだろうか…

●閃光のように駆け抜けたジミーの青春！

1931年、2月8日、インディアナ州生まれ。9歳で母と死別、伯母夫婦に預けられて育った。ハイ・スクールの時から演劇に情熱を傾け、カリフォルニア大学に入学後も演劇部に籍を置く。そして、あてもなくニューヨークへ。ふとしたことで芝居「ジャガーを見よ」に出演して注目を浴び、アンドレ・ジイドの「背徳者」の舞台へ。これで54年度デイヴィッド・ブラム賞最優秀新人賞を獲得。その頃からアクターズ・スタジオに入門し、54年5月エリア・カザン監督の「エデンの東」の主演を射止めた。この演技でのナイーブな感覚と屈折した青年像は彼自身の投影とも思え、新しいタイプの若者の登場によってハリウッドは一大センセーションを巻き起したのである。

続く「理由なき反抗」に主演した頃からスピードに魅せられた彼を、ハリウッドの人々は「反逆児」と呼び、変り者扱いし始めた。

そんな中で、清純派女優ピア・アンジェリは彼を愛し、二人は恋に落ちた。しかしこの恋も彼女の突然の結婚により、4ヶ月で終りを告げてしまった。彼のスピード狂はこの頃から一層激しくなり、ジョージ・スチーンズ監督の「ジャイアンツ」完成直前の55年9月30日、愛車ボルシェと共に24年の生涯に幕を閉じたのである。

《ジミーを語る》

●サミー・デビス・ジュニア
死後も騒がれ続けている人は2人しかいない。一人はジミー、一人はモンローだ。

●ナタリー・ウッド
彼は人生を愛していました。あまりにも強烈に人生に挑戦していたのです。

●デニス・ホッパー
彼は口数が少なかった。いつも物思いにふけっているように自分を見つめていた。



●「エデンの東」でアカデミー賞にノミネート。驚異的新人として衝撃的デビュー。



●「理由なき反抗」。ハリウッドの派手な雰囲気にも馴染めず失踪騒ぎを起した。



●遺作「ジャイアンツ」で2度目のアカデミー賞にノミネート。死後封切られた。

JAMES DEAN
THE FIRST AMERICAN TEENAGER

青春よ永遠に
ジェームズ・ディーンのものすべて

カラー作品●アメリカ映画
東宝東和提供

